

会議の名称	第4期 第5回戸田市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和5年9月28日(木) 午前10時～11時40分
開催場所	上戸田地域交流センター 1階 多目的室3・4
委員氏名	<input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 杉山 歩 <input checked="" type="checkbox"/> 茂呂 理絵 <input type="checkbox"/> 高木 美香 <input type="checkbox"/> 田口 香代子 <input checked="" type="checkbox"/> 結城 剛志 <input checked="" type="checkbox"/> 大沼 公子 <input type="checkbox"/> 谷島 宏美 <input checked="" type="checkbox"/> 横田 秀子 <input type="checkbox"/> 加藤 ちあき <input type="checkbox"/> 橋爪 祐介 <input checked="" type="checkbox"/> 井上 明美 <input type="checkbox"/> 本田 健 (◎委員長 ○副委員長) (□出席 ■欠席)
事務局	峰岸課長 廣井副主幹 茂木主事
議題	議 事 (1) 第五次戸田市男女共同参画計画の中間見直しについて (2) その他
会議の経過	会議の詳細は別紙のとおり
会議資料	・会議次第 ・第五次戸田市男女共同参画計画の改定案(第4章) ・説明資料 第5回戸田市男女共同参画推進委員会について ・とだあんさんぶるプラン～第五次戸田市男女共同参画計画～

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
委員長	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 議事 (1) 第五次戸田市男女共同参画計画の中間見直しについて</p> <p>本日は戸田市男女共同参画計画の政策の基本となる「とだあんさんぶるプラン」の第4章を中心にご検討いただくこととなります。前回は第3章までご検討いただきました。本日、みなさんのご意見をいただき、よりよい計画になるようにしていきたいと考えております。</p> <p>今年から埼玉大学でダイバーシティ共同教育プログラムというものを立ち上げることになりました。学生たちに男女共同参画を学ぶ機会を作ることにしました。私は、事業者が男女共同参画にどのように関わったらいいかを担当することになり、今回は生活協同組合の連合会の副会長をお招きして講演会をすることになりました。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>第4章目標1について、次の資料を用いて説明</p> <ul style="list-style-type: none">・第五次戸田市男女共同参画計画の改定案（第4章）・説明資料 第5回戸田市男女共同参画推進委員会について・とだあんさんぶるプラン～第五次戸田市男女共同参画計画～
委員長	<p>今ご説明いただいた内容は、戸田市が男女共同参画について、具体的にどのような政策を実施していくかについてです。目標が4つあり、その一つ目となります。</p> <p>ご説明いただいた内容からもおわかりになったと思うのですが、前回すでにご指摘いただいた点は反映していただき、訂正されたものが資料として挙がってきているということです。</p> <p>戸田市として、こういう政策をすることが望ましいのではないかと、今後もっとわかりやすく修正したらいいのではないかとということについて、ご意見ありましたらお願いいたします。</p> <p>また、内容について不明な点がありましたら、ご質問等お願いいたします。</p> <p>なかなかボリュームが多いですが、理解が追いつかないところとか、これは何ですかというようなことがありましたら、質問していただければ、この場の理解も深まっていくのではないかなと思いますので、ご遠</p>

	<p>慮なくご発言ください。</p> <p>9ページのSOGIというのは、新しい言葉、横文字で出てきています。内容的には性的指向と性自認で、これまで使ってきた用語の英語の頭文字で、少しインパクトのあるキャッチーな言葉ということで、新たに計画に出てきた言葉になります。</p>
委員	<p>大変いいのではないかなと思います。コラムでわかりやすく書いていただいているので、こういうのがあると冊子として見やすいと感じました。コラムが2つあり、親しみやすく、ただの報告書ではないように感じます。私としては、ちょっと近寄れた気がするので、いいかなと思いました。</p>
事務局	<p>コラムについてはこの1か所しかなく、他のページにはありませんが、アンコンシャス・バイアスは、大事な内容です。</p> <p>例えば、男性が若い女の子にかわいいねと平気で言う場面です。男性の視点では、かわいいねと言わないほうが悪いと思うのかもしれませんが、言われて嫌だと思える人も世の中になってきているので、そういうことをわかっていただけたらなということで、ここで取りあげています。</p> <p>次のSOGIについては、LGBTQという言葉はほとんどの方が理解していただいていると思いますが、LGBTQを強調しすぎると、逆に差別になってしまうことが起きています。性的指向は、どういった方を好きになるかそれぞれの人の中にあるものです。性的指向という考え方が一般的化できるように、このSOGIという言葉を入れました。コラムとして載せたい内容がありましたら、ページの都合がありますが意見ををお願いします。</p>
委員	<p>いわゆる用語説明とか注釈という形ではなくて、コラムというので入っているのがいいかなと思います。</p>
事務局	<p>現行計画では、注釈と用語一覧を入れていますが、その使い分け、区別はどこにあるのかというのが、整理できていない状況です。</p>
委員	<p>両方あるといいと思います。</p>
事務局	<p>両方あった方がよろしいですか。</p>
委員	<p>近いところであれば、そのまま続けて読んでいけますが、改めてそのものが知りたいときがありますので、両方あるといいかなと思います。</p>

事務局	わかりました。検討していきます。
委員	<p>コラムのこと、もう1点いいですか。</p> <p>コラムと用語説明が両方あると良いと思います。用語説明は、用語の解説だけで、コラムでは具体例があがっているという方がわかりやすいのかなと思っています。用語の意味するところが複雑になってきています。用語解説のところまで挙げているとすごい文量になってしまうので、コラムはわかりやすく噛み砕いた形で、用語の意味は用語解説の方で解説するのが良いのではないかと思います。</p>
事務局	ありがとうございます。
委員長	他にはいかがでしょうか。
委員	説明資料の2ページの「配偶者暴力相談支援センター」というのは、初めて出てきているのですね。
事務局	今回の計画では初めて載せます。
委員	では、その事業内容をどこかに載せられるといいなと思いました。文中に、「配偶者暴力相談支援センターを中心として」とありますが、中心としてというのは他にもあると思いますので、相談業務のできる場所とか、何か緊急時の連絡先とかそういうのも具体的に記載すると良いと思います。
事務局	相談窓口を案内できるような形をとります。ただ、相談窓口を列記してしまうと、数が多くなりますので工夫してみます。
委員	もし、皆さんご存知で私がわかっていなかったから、すみませんが、課名が変わったというのは、くらし安心課というのが新しくできたのですか。どこかの名前が変わったのですか。
事務局	以前、防犯くらし交通課というのがあり、その事業を分離してくらし安心課ができました。DVの相談機能などそういったものは、くらし安心課になりました。
委員	では、DVに関して今まで協働推進課で受けていたものが機能的に移っているということになりますか。
事務局	DVに関しては、くらし安心課に移っています。

委員	DVについてはある程度詳しい方が受けてもらえるのかどうか、DV関連は窓口で相談に行ったけど、うまく受け止めてもらえなかったとか、流されてしまったとか聞きますが、安心して相談に行ける感じですか。
事務局	そうですね。県の窓口との連携も、くらし安心課の配偶者暴力相談支援センターで行っていますので、市の窓口として相談していただけます。
委員	ありがとうございます。
事務局	行政組織としては珍しいことではないのですが、組織改正により課や課名が変わることがあります。組織改正に伴って、課名は変わりますが、機能はおとしませんので、それはご安心ください。
委員	わかりました。
委員長	それでは目標1についてはよろしいでしょうか。 では、次の目標2に進みます。 第4章目標2について事務局から説明をお願いします。
事務局	目標2について、次の資料を用いて説明 ・第五次戸田市男女共同参画計画の改定案（第4章） ・説明資料 第5回戸田市男女共同参画推進委員会について ・とだあんさんぶるプラン～第五次戸田市男女共同参画計画～
委員長	目標2は、地域や家庭の暮らしを支えるまちということで、施策が4から7まで、全部で4つあるということですね。 順番にみていきましょうか。 施策の4ですが、地域活動における男女共同参画の推進ということで、こちらはやや努力が必要な中間値になっているということでした。それで地域活動の参加を促したいということで、施策4になっています。 施策の5が防災・防犯で、こちらでも中間値をみると、頑張っていけないといけない内容になっていますね。 施策の6がワーク・ライフ・バランスで、こちらはなかなか評価が難しいのかなと、少し複雑な話になっていました。 施策の7が、子育て支援ということで、どこから話しましょうか。 まず内容について、ご質問等ありましたら、お願いいたします。

<p>委員</p>	<p>一番身近なのは、施策の4の男性ばかりが町会長をやっている部分で、町会長は充て職が多すぎるのと、日中に会議があったりするという事で、やはり女性としてはなりづらいのかなというのがあります。</p> <p>今年、自分の町会のことを一生懸命やりたいという希望から、21歳の大学生の女性が町会長になったようですが、本人が会合に出られず、周りから責められているような状態で、かわいそうだなっていうのを私は思いました。</p> <p>性別に関わらず、誰もができるような町会長の仕事内容にしないと、高齢者しか町会長ができない状況です。仕事をしてない人じゃないと日中動けないので、年齢が上の方しかできないというか、そういう形にしてはいけないと思います。どのような環境づくりを進めていけるのかなと、私はすごく関心がある部分です。</p>
<p>委員</p>	<p>普通に暮らしていると、町会長がやっている仕事内容というのはわからないですね。やはり男女差や世代差がある中で、顔見知り同士で根深いネットワークに入っていないと、町会長を務めるのが難しいと思います。いろんな原因が組み合わさっていることは感じるので、町会長の仕事をクリアにしていくと務めやすいのかなというのを感じます。</p>
<p>委員</p>	<p>この推進委員会に、以前は町会長の代表の方がいらっしゃいましたよね。</p>
<p>委員長</p>	<p>そうですね、はい。</p>
<p>委員</p>	<p>今、町会長の代表の方がいらっしゃらないのが、すごく残念だと思います。</p> <p>それからもう一つ、私は地元の町会では何もしていませんが、夫がマンションの理事をやっていて、年に一度、町会の集まりに行くと、男の人は会議をしているが、女の人は部屋の隅で集まって話していて、会議には入ってこないと言っていました。もう少し町会活動の実情を私たちは知るべきなのかなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。町会は組織運営や会計事務も含めて、外からは見えにくい組織だなと私も思います。町会連合会の方が委員会に来てくださっていたのは、6年前くらいですか。ちょっと私も経緯を忘れてしまったのですけれども、当時やはり充て職で来られていました。当時の方は出席率が低くて、そもそもあまり来てくださらなかったという印象があります。</p>

委員	私が知っているのはその前の方ですね。市の職員だった方かもしれません。
委員長	それは理解があるかもしれないですね。
委員	だいぶ前の話かもしれませんが、やはり町会は男性主導かなということはおっしゃっていました。
委員	難しいですね。
委員	あと、町会の会費、町会費ってありますよね。それが具体的にどう使われているのかがわかりません。
委員	各町会で総会資料を作成していて、市に提出をしていますよね。
事務局	<p>町会自体は任意の団体なので、監査はご自分たちでやっていらっしゃいます。各町会で総会をやっていますので、その中で会計報告もしていますので、疑問がある場合には、総会に出席しご発言いただくのが良いかと思えます。</p> <p>今、町会も運営を頑張っています。町会員が減って、なかなか新しい人に入れといても難しいので、お祭りなどを開催して、町会を知っていただく場を設けています。</p> <p>ちょっと前までは本当に高齢の男性で話もなかなかということもあったようですが、コロナを経て、町会も少しずつ変わってはきています。女性の町会長も今3人いらっしゃいます。</p> <p>町会は古いところもちろんありますが、地域のコミュニティで何かやるとなったときに、必要ないとはいえない組織だと思っています。町会運営を変えていくには、ご自身たちが参加して、その中で発言をしていくことが必要かと考えます。町会は新しく参加してくれる人を排除しようとは思っていないので、そこはご理解いただけたらと思います。</p>
委員	本当にその通りだと思います。ただ、任意団体である町会に対して、参加しやすい環境づくりを市の目標として進めるのには違和感があります。また、実際に事業を進めていくのが難しいのではないかと思います。
事務局	この項目については、事務局でも疑問を感じている点であり、町会は任意団体なのにどうやって事業を進めていくのかと思っています。

委員	市が町会を所轄していると思っていました。
事務局	町会は市の団体ではありません。現行計画で事業として入っていますが、この取り組み自体をどう進めていくのかが非常に難しい課題となっていますので、次回の計画に向けて考え直すところがあるのではないかと思います。
委員	町会に入っていないと、非常時に何か配布物がいただけないとか、避難場所に入れてもらえないとかはありますか。
委員	町会の活動をしています、それはいいですよ。
委員	<p>以前、防犯に関する委員をやっていたときに、地域のコミュニティというのが、今世間から嫌がられているけれど、例えば誰かが家の中で避難できない状況であるにも関わらず、誰もそのことを知らない状態であると、結局はその人が死んでしまうから、コミュニティをしっかりと培っていかないといけないと聞きました。</p> <p>面倒だけでも地域の交流はしておかないと、いざ地震があった、家が潰れた、火事が起きたというときに、助けられる命も助けられない、ということになります。そう考えると、やはりある程度市が関わっていくというのは必要なのかなというのはありますが、どういう切り口でいくのがいいのかと考えますよね。</p>
委員	町会に入っている方は、お願い会員とお助け会員として助け合う形ができています。町会に入っていない足腰の悪い方は、おそらく民生委員の方が携わったりしているので、助けられないということはないと思います。
委員	「つばさ」の編集委員をしていますので、例えば、女性の町会長にインタビューして、町会活動等を「つばさ」で記事にしてもいいのかなと感じました。
委員	<p>具体的な取り組みとして、町会自治会やボランティア活動と書いてありますが、私が他に委員として関わっている団体でも、参加を増やしましょうというのは話しにあがっています。</p> <p>ボランティアセンターTOMATOの委員もやっているのですけれども、そこでも当然こういう話が当たり前に出ています。</p> <p>他にも同じことを考えている人はたくさんいるので、本当はそうした団体と連携できたら一番いいと思いますし、委員会同士で意見交換できたら、意見も広がるかなと思います。もし可能であれば、例えば自治基</p>

	<p>本条例推進委員会と一緒に会議というか、ディスカッションのようになるのかはわかりませんが、みんなでどうしようと1回話せるとよいと思います。</p>
委員	<p>ここだけで頑張ろうとっていると、同じ方向をみんなが向いてしまうので、違う方向を向いている人たちとも話せる機会があるといいかなと思います。</p>
委員	<p>P T A関係や商工会、町会もですが、他の組織で委員長をやっている男性にこっちの委員長もやってもらった方が、対外的に説得力があるのではないかと思っていますところがあります。みんなで色々な話ができれば、お神輿を担ぐみたいにその人を据えなくても、女性の参加が多いのであれば、実情に沿った形で女性が代表になってもいいじゃないという流れができればと思います。</p>
委員	<p>どうしても代表や委員長に女性が少ないという判断をしがちですけれども、実際に動いている人、関わっている人の割合は男性ばかりではないと思います。ここの推進委員も女性の方が圧倒的に多いですよ。例えば町会長が男性の方が多から男女平等ではないという考え方はそろそろやめてもいいのかなと思います。</p> <p>実際動いているのは、主婦の女性が多かったりします。</p>
委員	<p>町会長の仕事を誰でもできるような仕事にしていく動きはありますか。</p>
事務局	<p>町会長の負担軽減というのはすごく話題にはなっています。</p> <p>この委員会で町会長の充て職を辞めたのも町会長の負担軽減の一環です。行政の会議において、町会長というのは地域の声を聞くという意味で、町会長に委員をお願いすることがあり、地区の代表町会長が、1人でそれぞれ10とか15の会議の委員を担っています。町会連合会としては、日中に会議を開催するのは年に1、2回です。</p> <p>町会の担い手不足も非常に課題になっているので、そうした課題に対しての研修を町会長だけではなく、町会役員も来られるようにして実施しています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>少し時間の相談をしたいのですが、おそらく時間通り行くと終わらない状況です。延長というのもどうしたものかということもありません。悩ましいですがどうしましょうか。</p>

事務局	<p>この後、目標3と4があるのですが、目標3と4の主な見直しの点としては、既に実施している事業を追記させていただいたのと、課名が変更となったところを修正したものとなっておりますので、5分で説明できるかなと思います。</p> <p>施策6については、本日皆さんからご意見いただければと思うところがありますので、施策6を中心にやっていただけると事務局としてはありがたいです。</p>
委員長	<p>ワーク・ライフ・バランスについてですね。</p> <p>こちらは少し丁寧に話さないと内容の理解が難しいかと思います。15分位は時間とってもよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。お願いします。</p>
委員長	<p>※ワーク・ライフ・バランスの指標について委員長より補足説明</p>
委員	<p>アンケートをとった男女比や年齢層は、どんな感じなのですか。</p>
事務局	<p>18歳以上の方を中心に、3,000人を無作為抽出でやっています。男女比は同じになるような形で、1,500、1,500、合計3,000人です。年代ごとに抽出する人数を按分しています。</p>
委員	<p>独身者にとっての家庭生活というのは、何ですか。家事をやっている時間みたいなニュアンスですか。</p>
委員長	<p>そうですね、生活時間になります。</p>
委員	<p>仕事についている人に、家庭生活について聞いているわけですよね。</p>
事務局	<p>働いている方でも、本当に仕事さえ充実していればいい、と思う方がいる可能性もあります。そうすると、ワーク・ライフ・バランスができている人の割合は低くなってきます。</p>
委員	<p>そうですね。趣味と仕事の境目があまりないという人もいますよね。あとアンケートに回答した本人は仕事優先の生活に納得しているけれど、その人と結婚している専業主婦の配偶者が全く納得していないケースとかもありえますが、それは反映されないということですよね。</p> <p>難しいですね。家庭生活だけど、本人が答えているっていうことですよね。</p>

事務局	アンケート項目であるワーク・ライフ・バランスを希望する値が低くなっていますが、アンケートの結果となっていますので、基準として捉えても良いのではないかと思います。
委員	私も62.5%を目標とするのはありかなと思います。何年後かにこれを見直す時がきたときに、達成できていたら更にそこを上げればいい、ということになりますし、できなかつたらその時の市民意識調査の結果を踏まえて、検討していくのも一つだと思います。もしかしたら、希望する値がもっと下がっているかもしれまえん。どういう時代になっているのかわかりませんが、数字的には悪くはないかなというふうに感じます。
委員	希望が目標になるというのはわかりやすいということですよ。
委員	一応、数値の根拠がはっきりすることになりますね。
委員	年間の増加量1%よりもわかりやすいです。
委員	でも、他のところで目標値の設定で、年間の増加1%という基準を設けているですよ。ここだけがそういう本人たちの希望の数字を入れてしまっているのか。
事務局	市民アンケートで、現実と希望、という聞き方をしているのは、このワーク・ライフ・バランスだけです。
委員	そうすると、ここは62.5%で入れるべきなのか、他とあわせて年間増加率が1%ということで、61%にするか、というところを今決めましょう、ということですね。
事務局	事務局としては、今お話しいただいたように62.5%を提案させていただきました。 この項目については、今後の市民意識調査を変えていく必要があると思っています。これまで、継続的な調査を意識し、設問を変えずにきていたのですが、この委員会でも発言があったように、答える人が変わっているとすると、本当に継続性の意味があるのかがわからない部分もあります。今回の調査を踏まえ、調査のやり方から考える時期になっていると考えます。
委員長	では、ワーク・ライフ・バランスは事務局のご提案どおりで、よろしいでしょうか。

	異議はないようです。ありがとうございます。
事務局	後半の指標として示すワーク・ライフ・バランスの表については、今まで2017年度から使ってきたワーク・ライフ・バランスの10.3%を削除し、50.3%を4章に残すことでよろしいでしょうか。第3章で、変更した算定基準を変えた点は説明し、第4章では、後半の指標となる部分を残したいと考えています。
委員長	該当する指標の表2行目をカットということですね。 では目標2はよろしいようなので、第4章の目標3及び4について説明をお願いします。
事務局	第4章の目標3及び4について、次の資料を用いて説明 ・第五次戸田市男女共同参画計画の改定案（第4章） ・説明資料 第5回戸田市男女共同参画推進委員会について ・とだあんさんぶるプラン～第五次戸田市男女共同参画計画～
委員長	目標3は、職場の男女共同参画が中心の内容になっていて、目標4は推進と体制の話になっています。どちらも結構重要な議題ですが、あまり大きな変更がないということでご説明いただきました。 目標3、4まとめてご意見ご質問等ありましたらお願いいたします。
委員	用語のことについてでもよろしいですか。36ページの所です。上から3行目、「女性への配慮などが必要で」というところで、それが女性という言葉を使うのが適切なのかが少し引っかかりました。 続いて、最初の文、「女性は思春期・成熟期・更年期・老年期」という文言ですけど、男性も思春期も老年期もあります。「ライフステージによって心身の状態が大きく変化します」というのは男女関係ないし、「女性」という言葉がすごく私は引っかかりました。ライフステージで心身の状態が大きく変化するというのはあるとは思いますが、「女性」という言葉に疑問を感じました。
事務局	では、事務局で文言等検討してください。 今、1つ目にご指摘された女性への配慮というのは、昔議論した記憶があって、あえて入れたような気もするのですけれども、覚えていますか。
委員	覚えていません。
委員長	違和感が今となってはあるということであれば、ご検討をしていただ

	ければと思います。
委員	もう1カ所あります。38ページの一番下、No43の所で、ピンクリボンと入っていますが、これは新しい事業ですか。
事務局	いえ。今までやってきた事業ですが、ピンクリボンという名称が計画に掲載されていなかったの今回新たに記載しました。
委員	ピンクリボンはどういうことですか。 これは、あいパルではなく戸田市としてやっているのですか。
事務局	今はあいパルがやっています。
委員	あいパルはパープルリボンもやっていますよね。
委員	はい。パープルリボンは、その時期に職員がパープルリボンをつけております。
委員	ピンクリボンを事業として入れるのであれば、パープルリボンも入れてほしいです。パープルリボンはDVに関連するものですか。
委員	そうですね。パープルリボンはDV防止で、ピンクリボンは乳がんです。
事務局	ピンクリボンは乳がんの撲滅の運動で、過去には「乳がんを知りましょう」、「乳がん検診をしましょう」という啓発のピンクリボンウォークを行いました。ピンクリボンは、「乳がんに対する啓発活動（ピンクリボン）」と説明が必要です。
委員	ピンクリボンに説明を入れるなら、パープルリボンにも説明を入れてください。
委員長	では、他の点でご意見ありましたらお願いいたします。
委員	防犯・防災の所で、私も少し気になっています。女性への配慮というところで、性的マイノリティへの配慮をいたるところでやっている中で、ここでやはり女性だけをピックアップして女性の視点を取り入れると、性的マイノリティへの配慮が漏れてしまうものが大きいような気がします。女性への配慮も必要なので、必要なものを全部書いていたら足りないと思いますが、もっと包括的な表現があるのではないかと感じ

	ます。
委員	女性に特化しないということですよね。
委員	女性はもちろんなのですけど、というところです。もう少し一步入ると優しいのではないかなと思いました。
委員	実際に被災したことがないので、避難所というのはどういうふうになっているのか、具体的にわからないことがあります、そんなに女性が自分の体を隠せないのでしょうか。
事務局	<p>実際、大きな災害時の避難所では、やはり女性の着替える所がない、干しているときに下着を見られてしまう、そういうようなことはあるようです。</p> <p>今までのお話のとおり「女性に配慮した」というと、「女性というのはおかしいでしょう」と思われる委員さんもいらっしゃると思います。ただ、避難所の事例がありますので、「女性に配慮」というところがあった方がいいのではないかと考え、今回皆さんにご提出しています。</p>
委員	<p>女性を含めというところですよ。</p> <p>私、何年か前の大雨の時に避難をしたことがあり、浦和の高砂小まで行きました。しっかりとした壁はないですが、即席の仕切りがあり、なるほどこういう状況なのだと分りました。当時、乳飲み子と犬も連れて行き、避難所はなかなか厳しい状況だという感じは正直ありました。1泊で帰れたので良かったのですが、勿論、生理用品もないし、カーテンも無いという状況でした。思春期の女の子だったら辛いだろうな、それこそマイノリティでなかなか理解され辛い肉体や、精神的なものをもっての方にとっては、本当にしんどいと思います。あまり限定的でない言い方をしてもいいと思います。</p>
事務局	戸田では、段ボールの仕切りを避難所で備蓄しています。壁はできますので、可能な限りで配慮はしています。洗濯物等は、現在そこまでは至っていません。
委員長	他にございますか。
委員	13ページでICTという単語が入っているのですが、皆さんわかっていますか。調べたらインフォメーション&コミュニケーションテクノロジーとありました。

委員	では、注釈か何かを入れる形にします。
委員	そうですね。そうしたら、他にもいくつか出てくるのかもしれませんが。
委員長	改めて見直して、略称があれば対応します。
委員	お願いします。
委員	<p>25ページの子育て支援の話なのですが、戸田は子育てが充実していると感じているのですが、小学校高学年あたりから中学生、高校生に対する支援・サポートが少し薄いと感じています。赤ちゃんの頃は色々やっていたというのがあるのですが、この間、県条例で、小学生3年生以下は車の中に限らず、家でも子どもを放置してはいけないという努力義務が決まるかもしれないとのニュースを見ました。</p> <p>子育て支援といったときに、だいたい赤ちゃんから保育園、幼稚園児、小学校低学年くらいまでを見ているところが結構多いと感じるので、もう少し中学校から高校生くらいまで視野に入ってくると嬉しいと感じる所です。あと、預かってもらえる所までは結構色々な事をやってくれていると思うのですが、私たちの世代の子育ては教育格差がきつく、お金のある子は塾へ行って私立に行ける、お金の無い子は塾にも行けないといった問題もあるので、自治体の中でただ預かってくれるのではなく、プラスアルファをやってもらえると思うので、凄く助かると思っています。</p>
委員	青少年の居場所がありますよね。
委員	そうですね。でも、お迎えしないといけないのですよね。そこまで連れて行って帰ってくるがあるので、活用が難しいですね。
委員	一人親世帯向けには、子どもの勉強をサポートしてくれるのがありますが、一人親でないと支援がないです。塾に行けない、学校の勉強がわからないといったことをチラホラ聞きます。学校の学童だと勉強は教えてくれないので格差ができてしまうのかと感じます。
委員長	充分かどうかはわかりませんが、中学校では、塾に入っていない子ども向けに塾の授業の提供をやってはいます。
事務局	夏休みの補習みたいな形です。
委員	40ページの「あいパルの男女共同参画センターとしての認知度

	は？」とあるのですが、あいパルは男女共同参画センターになったのですか。
事務局	あいパルは戸田市地域交流センターであって、その中に男女共同参画の機能があります。
委員	戸田市としては男女共同参画センターがないのですよね。
事務局	推進拠点であり、センターという名称ではないので修正します。
委員	あいパルで、男女共同参画センターとしての発信や取り組みをやってくださっています。だいたい揃っていると思うので、改めて男女共同参画センターになってもいいと思います。担当課とネットワークがとれていれば、相談業務とかDV関係の受け入れなど発信をやってらっしゃいますし、折角ですからセンターにさせていただけたら嬉しいとは思いました。
委員長	<p>時間になりますので、無理矢理終わらせてしまって恐縮ですが、議題の目標1から4までよろしいでしょうか。</p> <p>まだありましたらメール等で事務局に直接ご意見いただければと思います。</p> <p>では、次の議題でその他です。事務局からご連絡等ありましたらお願いいたします。</p> <p>(2) その他</p> <p>【事務局より連絡事項】</p> <p>※時間の都合上、3項目を委員へメールした。</p> <p>閉会</p>

※事務連絡

- ①あいパルが実施したあいパルお誕生日会における男女共同参画啓発活動を報告
- ②11月に開催される「人権教育指導者研修会」に関するお知らせ
- ③第6回推進委員会の開催日時等のお知らせ